



アダプテッドスポーツ大会の様子



理事長就任挨拶



学校法人東日本学園 理事長 鈴木 英二

昨年10月1日より、学校法人東日本学園の理事長を務めさせていただくこととなりました。私は、この法人に40年以上事務職員として勤務してきましたが、これまでの経験を生かしながら、新たな課題や現場からの要望に速やかに対応できるよう、機動的な運営に努めていきたいと考えております。

学校法人の務めは、人的・物的・資金的な支援を通じて、設置する大学・専門学校等の運営が円滑に進められるようサポートすることにあります。また、大学の使命として「教育・研究・社会貢献」の三つが挙げられておりますが、本学の場合は私立の医療系大学ですので、学生が必要な資格を取得し社会で活躍するために必要な教育を行うこと、このことが本学に課せられた第一の使命だと思っております。特に今後は、大学に入学したばかりの学生に対して大学での生活習慣や学習に必要な基本的態度を身につかせる、いわゆる「初年次教育」の充実が求められておりますので、こういった方面へのサポートも強化していきたいと考えております。

この2年にも及ぶコロナ禍のもと、大学をめぐる諸環境はかつてないほど厳しい状況にありましたが、昨年6月から始まった「職域接種」では医療系総合大学である本学の特色を生かし、全国の先陣を切ってスタートすることができました。このことは学生、教職員さらには地域住民の健康に貢献したばかりでなく、保健・医療・福祉の連携統合という本学の教育理念を深め実践するという意味からも大変有意義な取り組みとなりました。引き続き、感染拡大の

防止に努めながら学生・教職員の皆さんが安全・安心な大学生活を送ることができるよう、環境整備に努めていきたいと考えております。

法人経営上の課題としては、授業料収入や補助金収入への依存体質から脱却して、新たな収益部門の設置などを視野に経営体質の強化にも努めてまいり所存ですが、これから続いていく18歳人口の減少にどう対応していくのか、ポイントはこれに尽きると思います。今年初めて全国の実入学生総数が入学定員総数を下回る事態となりました。このようななか、本学もほんの10年ほど前までは約半数が道外からの入学生という時期がありましたが、再びこのように全国から学生が集まる大学となるよう、そのブランド力を高めていかなければなりません。さらには、これまでも東南アジアを中心に海外からの学生・大学院生の受け入れを行ってきておりますが、大学のグローバル化・国際貢献の観点からも、こういった海外からの学生受け入れをより積極的に進めていきたいと考えております。

本学は2年後に開学50周年を迎えます。それまでに検討しなければならない事項は山積しておりますが、逆にこの2年間を好機ととらえ、すべての可能性を排除せず、可能な限りオープンな場で議論を進めていきたいと考えておりますので、教職員ばかりでなく、同窓生、学生、学生ご父母の皆様からも忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

今後とも引き続き皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

CONTENTS

理事長就任挨拶	1
定年を迎える先生からのメッセージ	2
教員役職者・新任教員・昇任教員等紹介 2021年度 理事長表彰	
OPEN CAMPUS 2021 開催報告	3
アダプテッドスポーツ大会 開催報告	
同窓会活動状況	4
コロナ関連最新情報	6
コロナ禍で活躍する学生たち	
2021年度 就職相談会を開催しました。	8
スポーツを支える各学科の 教員特集Vol.2	
OG訪問[歯学科]	9
JR「当別」駅から徒歩1分の 本学専用寮に新館(2号館)が完成しました。	10
インターネットによるご寄附が可能です	11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	

定年を迎える先生からのメッセージ *Message*



心理学部 准教授
河合 祐子

定年退職にあたって

2007年4月から本学の心理学部臨床心理学の教員として勤め始めましたが、気づいてみればもうこの3月には定年となります。光陰矢のごとしは、まさに今の自分にぴったりの言葉であると実感しております。お世話になりました同僚、教職員の皆様、関係の皆様、学生・大学院生の皆様に、心より御礼申し上げます。教わること、支えて頂くことが多々あり、ここまで勤めることができたと感じております。

新米大学教員として着任したその年に、文部科学省組織的な大学院教育改革推進プログラムに、心理学研究科臨床心理学専攻の「科学者実践家モデルに基づく臨床心理学教育」が採択されました。3年度にわたるもので、大げさな表現となりますが、「院プロ」の言葉を聞かずに、「院プロ」のことを考えずして一日が終わることはない、そういう日々であったように思います。同僚とともに、全国に先駆けて臨床心理学分野でのOSCEをつくりあげたことも、当時の熱い思いとともに、いまだに心に残っております。

自分自身がカウンセリングや臨床に興味をもちながらも、実験心理学から心理学の道を歩み始め、あちらこちらに寄り道しながら、有能な臨床家になりたいと決意し、そのためには大学院

での系統だった教育・訓練が必要であると考え、留学、就職と10年間をアメリカで過ごしておりました。奇しくも、大学院の臨床教育のみならず、「院プロ」にも携わることから、教員としてのスタートを切ることができたのは、ありがたくも、幸せなことであつたと思っております。

在職期間中のもっとも感慨深いことは何かと尋ねられましたなら、心理学を土台とした心理職の国家資格、公認心理師の誕生とお答えするかと思います。学部と大学院を通して通算6年間のカリキュラムとなったことも、うれしいことでありました。公認心理師の新カリキュラムで入学された方々と一緒に、私も卒業することになります。この先も何らかの形で、公認心理師育成にかかわっていただけたいと思っております。

人のこころの不思議さ、尊さを学んだ卒業生、修了生が世に出る一助を担えたとしたら、教員冥利に尽きると感じております。そして、6学部9学科からなる医療系総合大学での学び、経験、人との関わりが、人間存在の理解に幅と深さをもたらしてくれたものと思います。自分自身の来し方を振り返り、そのように感じております。ありがとうございました。

新任教員・昇任教員・新規選出教員役職者紹介

新任教員

2021年10月1日付

リハビリテーション科学部 (理学療法学科)	助教	只石 朋仁
先端研究推進センター	助教	パウデルドゥルガ
口腔機能修復・再建学系 (高度先進保存学)	歯学部 任期制助手	岩田 宏成

2021年12月1日付

歯学部 (生体機能・病態学系(顎顔面口腔外科学))	助教	久原 啓資
------------------------------	----	-------

昇任教員

2022年1月1日付



歯学部 講師
(生体機能・病態学系(臨床口腔病理学))

吉田 光希 (よしだ こうき)

本学歯学部卒業。同大学院歯学研究科博士課程修了。北海道医療大学病院研修歯科医、同任期制助手、同臨床助手、本学歯学部助教を経て、講師昇任。歯学博士。

配置替

2021年10月1日付

薬学部(薬学教育推進(薬学教育支援室))	助教	山口 由基
----------------------	----	-------

2021年度 理事長表彰

2021年度の理事長表彰式が、当別キャンパスおよびあいの里キャンパスにおいて2022年1月6日(木)に執り行われ、鈴木英二理事長より表彰状が授与されました。理事長表彰は、特に表彰の価値があると認められた方を対象に授与するもので2021年度は以下の方が表彰されました。



- 二瓶 裕之<薬学部・教授>
- 西牧 可織<心理学部・助教>

情報センター長および情報センター主任として本学のDX化プロジェクトを推進し、2021年3月11日には「医療系大学における学生参加型AI開発による学修者本位の教育の実現と普及」の取組みが文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択、さらに2021年8月4日には、本学の情報科学教育プログラムが文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に選定され、本学の発展に大きく貢献した。



- 大村 一将<歯学部・准教授>

感染対策委員会委員長・職域接種統括責任者として、新型コロナウイルス感染症対策の先頭に立ち、学生・教職員の感染予防に尽力した。

- 佐藤 寿哉<歯学部・講師>

2021年度歯科基礎医学会学会奨励賞を受賞し、受賞論文は糖尿病における唾液分泌障害の治療方法の確立と口腔内環境の改善に向けた新たなアプローチや他の糖尿病の合併症の発症メカニズムの解明の一助となる重要な研究成果となった。

OPEN CAMPUS 2021 開催報告

2021年のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、参加者を高校3年生のみに限定し、学科ごとに開催日程を分散させて実施いたしました。当日はマスクやフェイスシールドの着用、飛沫防止パネルの設置等、十分な感染対策を行った上で、学部学科に分かれ、さまざまなプログラムや、ハイブリッド(対面・オンライン)型講義、InstaLIVEも実施しました。

※以下は、各学科で実施したプログラムの一部です。



薬学部 薬学科

PCR実験を体験してみよう!



リハビリテーション科学部 理学療法学科

簡単な運動で健康づくり
～当別シャッキリ体操～



歯学部 歯学科

歯の修復体験
～マイクロとマクロの探検隊～



リハビリテーション科学部 作業療法学科

自分の作業を「評価」してみよう!



看護福祉学部 看護学科

先輩から聞く!
医療大看護学生のキャンパスライフ!



リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科

やってみよう!ことばの検査



看護福祉学部 臨床福祉学科

スポーツをadaptしよう!



医療技術学部 臨床検査学科

バナナからDNAを取り出してみよう



心理科学部 臨床心理学科

ストレスとの上手な付き合い方
～"今"使えるヒント～



歯学部附属歯科衛生士専門学校 歯科衛生科

超音波スケーラーとバキューム操作

参加者数計

※リハビリテーション科学部3学科での合同開催 …実施なし

	薬学部	歯学部	看護学科	臨床福祉学科	臨床心理学科	理学療法学科	作業療法学科	言語聴覚療法学科	臨床検査学科	歯科衛生士専門学校
6月	53	5	96	27	25		97*		37	21
7月	227	33	197	18	57	92	44	45	192	
8月				27	55	93	42	44		19
9月	95	13	127	13	18		106*		67	

アダプテッドスポーツ大会 開催報告

2021年12月24日(金)に本学体育館にて看護福祉学部主催のアダプテッド・スポーツ^{※1}大会を開催しました。参加者はシッティングバレーボール^{※2}やフライングディスク(アキュラシー)^{※3}、車椅子バスケットで身体を温め、総勢15名(教職員:9名、学生:6名)がチームを作り、ポッチャ^{※4}で対決しました。初めて体験する参加者に、経験者である参加者がやり方を伝えながら、和気あいあいとスポーツを楽しみました。冬の寒い体育館で開催されましたが、途中で上着を脱いだり腕まくりをしている参加者も見られ、接戦による接戦の結果、看護福祉学部の内ヶ島先生率いるチームが優勝しました。

- ※1: **アダプテッド・スポーツ**…障がいの有無に関わらず、楽しみたい人に適応(=アダプト)させて、スポーツのルールや用具を工夫するという考え方のもと考案されたスポーツ。
- ※2: **シッティングバレーボール**…床に臀部(でんぶ)の一部が接触した状態でプレーするチーム競技。1チームは6人で編成し、一般のバレーボールよりもネットの高さを低くし、狭いコートで行う。パラリンピック種目の一つ。
- ※3: **フライングディスク(アキュラシー)**…ディスクコントロールの正確さを競う競技。5m または 7m(どちらかを選択)離れたアキュラシーゴール(内径 91.5cm)に向かってディスクを 10 回連続して投げて、通過した回数を競う。
- ※4: **ポッチャ**…ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり転がしたり他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競う競技。パラリンピック種目の一つ。





薬学部
同窓会長
桂 正俊

薬学部

薬学部同窓会は6,000名を超える会員が全国各地で活躍しております。全国17支部(道内7、道外10)で活動を行い、医療薬学セミナーと同時に支部総会や懇親会を開催し、その地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところです。会員数の増加により、道内支部の細分化と道外の卒業生が減少していることから本州支部の統合やブロック化も含めて現在検討しております。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、各セミナーを含めさまざまな行事やイベントが中止や延期となり、各支部での活動も縮小して行っている状況です。しかし、コロナ禍の中でもwebを利用したりリモート研修等を薬剤師支援センターの協力で、

〈創立年:1979年 会員数:約6,180名〉

徐々に開催することができております。

コロナ禍以前は、卒業生の生涯教育として、医療薬学セミナーや将来ビジョン講座など卒業研修を企画するとともに「卒業生・在学生合同懇談会」を開催しており、我々同窓会としても、入学時から学生に対しての支援活動を通して大学に寄与できるよう努力してまいりましたが、在学生も同窓会準会員としてしますので、在学生に対しての更なる支援を今後も検討しております。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>
- yaku-dousoukai@hoku-iryu-u.ac.jp



歯学部
同窓会長
荒輪 隆宏

歯学部

平素は北海道医療大学歯学部同窓会の活動に際し、深いご理解と多大なるご協力を頂き誠にありがとうございます。

歯学部では、昨年4月に44期生が入学され、本年3月には39期生が社会に巣立ってくれました。後輩たちを育ててくれた学内の教員の皆様に深く感謝し心からお礼を申し上げます。

未だ収束の目処が立っていない新型コロナウイルス感染拡大の中で、ディスタンスの確保とコミュニケーションの充実、この二つを両立させながら学生生活を送られていることに深く敬意を表します。我々はこの厳しいコロナの現況をコントロールすることはできません。しかし、自分自身をコントロールすることができます。このことにフォーカスを当て、しっかりとしたい運い自分を創ることを日々の生活で学び、気持ちいい機会だと捉えています。

この2年間、我々の同窓会活動も多くの変化を余儀なくされました。1年生サマースクールの応援、1年生応援講義、6年生卒業試験、国家試験の応援、同窓会誌の制作発行、同

〈創立年:1984年 会員数:約3,258名〉

窓会賞授与などを多くの同窓生の協力の中で継続することができました。また、コロナ対策学生応援プロジェクトいわゆるコロナ基金の応援やリモートによる学術講演会開催などの新たな活動も始まりました。再来年には本学創立50年そして本会設立40年を迎えます。この節目の年に向かって、夢と希望を持って皆様に本会設立の目的に則った活動を充実させて参りたいと存じます。

最後に医療大ワンチームによるワクチン接種活動に感動致しました。短期間で準備されしっかり運営下さいました全ての皆様から感謝しお礼を申し上げます。

- <http://www.hoku-iryu-u.com/>
- dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp
- 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部
同窓会長
川村 武昭

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

〈創立年:1997年 会員数:約2,600名〉

福祉会(看護学科同窓会)は1997年に創立し、今年で活動26年目となりました。日頃から御尽力をいただいている同窓生の皆様をはじめ、各学部学科の同窓会役員の皆様、そして大学関係者の皆様はこの場をお借りして深く御礼申し上げます。

さて、今年度の同窓会活動は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により十分にできない状況が続いています。3回目のワクチン接種が始まり、経口治療薬の開発も進み、徐々にwithコロナの社会が到来しつつあると感じる一方、会員同士の繋がりがや交流することを目的とした本会の活動を安心して展開するにはもう少し時間が必要と感じています。それでも1年前の今日と比べると、世の中とともに私たちの行動は変化し、そして成長していることは間違いありません。

今後も福祉会としては、同窓生や在学生との繋がりが、ともに育ちあえる機会や関係性を構築していける環境の醸成を目指し、大学や他学部の同窓会と連携を図りつつ活動して参りたいと考えています。同窓生が安心して語り合える機会が増えることで、看護職として、また、本学の同窓生としての繋がりを再認識できることが本会の発展に繋がると考えております。活動の再稼働にはもう少し時間を必要とすると思いますが、これからのどうぞよろしくお願ひいたします。また1年後、各々が繋がるさまざまな荒波を乗り越えその先で元気にお会いできることを楽しみにしております。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/>
- kango@hoku-iryu-u.ac.jp



臨床福祉学科
同窓会長
小畑 友希

看護福祉学部／臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

〈創立年:2000年 会員数:約2,100名〉

新型コロナウイルス感染症は、人や社会との繋がりをもって生活することが大切であることを明らかにしました。そして同窓会活動は、繋がりをつくり出すことに価値が生まれます。コロナ禍でもオンラインで実施した活動について報告します。

7月と9月に「病院ではたらく相談支援のしごと体験講座」が、中・高校生とその保護者を対象にweb開催されるにあたり、昨年度に引き続き当同窓会も企画・運営に携わりました。医療ソーシャルワーカーの職業理解を深めていただく機会になっております。

11月には、福祉・介護同窓会セミナーと総会をオンライン開催いたしました。セミナーは臨床福祉学科の奥田かおり先生に「自分の力を発揮できる職場づくり、弱さでつながる」と題し講演をいただきました。心理的に安全な環境にあるチームは離職率が低く、個性を活かやすく、結果的に成果を上げられやすくなるということです。弱さを語る、ありのまま

の自分自身でいられる組織は、スタッフも組織も成長するものであることを学びました。対話実践を取り入れることを考えている同窓生は、奥田先生が力になってくれますし、他の学科の先生方も常に私たち卒業生を見守ってくれています。総会は、道外からの出席者もあり、画面越しではありますが交流の場となりました。

コロナ禍で創意工夫しながら創り出している活動は、新たな同窓会の価値を生み出す可能性も秘めています。今後も母校の発展と卒業生の活躍を願ひ活動を推進して参りたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~fukudo/>
- fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp



臨床心理学科
同窓会長
上河邊 力

心理科学部／臨床心理学科

〈創立年:2006年 会員数:約590名〉

平素より同窓会活動への格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度に引き続き、感染症の世界的な流行に伴い多大な影響を被られました会員の皆様方ならびにそのご家族の皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

感染症の影響により、現在も対面で行われる同窓会の活動は実施できない状況が続いております。しかしながら、今年度は同窓会公式YouTubeチャンネルを開設したことにより、道内のみならず全国各地にお住まいの同窓会員の皆様方へ同窓会セミナーの様子をお届けすることが可能になりました。当日のライブ配信に加えて、録画された研修会の様子を後日視聴できる体制も整えたこともあり、今までにないほどに大勢の皆様方からお申し込みをいただきました。

従来の知識提供型のセミナーに加えて、全国各地で活躍する卒業生とのオンライン交流会という新しい試みもスタートしています。就職を目前に控えた学生さんだけではなく、入

学したばかりの1年生の学部生にもご参加いただくことができ、大変嬉しく思っています。学生の皆様方からは大変ご好評をいただいておりますので、今後も定期的な開催を目指していきたいと思っています。

もう1つの大きな挑戦は、同窓会の公式LINEアカウントを開設したことです。これにより、同窓生の皆様方は、お手持ちの電子機器で即座にしかも確実に同窓会についての情報を受け取ることができるようになりました。郵送費や印刷費がかからない分、今までよりもたくさんの情報を同窓生の皆様方へお届けすることができています。

このように、今年度は同窓会活動のIT化が大きく進んだ1年となりましたが、これからも、当同窓会へ変わらぬご支援を賜りますよう謹んでお願ひ申し上げます。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/>
- shinri-dousoukai@hotmail.co.jp



理学療法学科
同窓会長
武田 智洋

リハビリテーション科学部／理学療法学科

〈創立年:2017年 会員数:約280名〉

平素より理学療法学科同窓会の活動にご理解ご協力をくささり、誠にありがとうございます。日頃から活動に対して積極的にご協力頂いている同窓会役員をはじめ、他学部同窓会の皆様、本学関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。

本学に理学療法学科が開設されてから9年が経ち、今年には6期生が社会人デビューを果たしました。今年もまた「北海道医療大学」から「理学療法士」が誕生したことを嬉しく思っております。これまでの卒業生は北海道内のみならず、全国各地の医療機関や福祉施設等で活躍しています。6期生の皆さん、初めての仕事で慣れないことや多くの悩みが生じることがあるかと思ひます。そのような時は身近にいる卒業生に声をかけ、些細なことでも相談してみてください。きっと後輩である皆さんのことを優しく支援し、心強い存在となってく

れるはずですよ。同窓会としても卒業後のサポート体制をさらに充実させていきたいと考えています。卒業教育の一環として、全国的に著名な先生や当学科教授を招いてのセミナー開催を企画しています。知識・経験が豊富な先生による講演や、学生時代を知る先生にだからこそできる相談など、「明日につながる」内容を求め、実践していきたいと思っております。

引き続き後援会の皆様をはじめ、他学部同窓会の皆様に御指導を頂きながら、本学の発展、同窓生のさらなる活躍の一助となるべく活動を参りたいと思ひます。

- <http://iryoudaipt.web.fc2.com/>
- iryoudaipt@gmail.com



作業療法学科
同窓会長

田丸 仁啓

リハビリテーション科学部／作業療法学科

〈創立年:2017年 会員数:約180名〉

作業療法学科同窓会は、開設より6年目を迎えます。設立初年度より顧問である作業療法学科近藤里美教授、他学部同窓会役員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在は約180名の同窓会会員で活動しており、今後も毎年30～40名とまだまだ少ない会員数の期間が続きます。少人数という特徴を活かして密に連携をとりながら、当同窓会が同窓生、在学教員、在学生のつながる場としてあり続け、発展していくことを願っております。

今年度もCOVID-19の流行により同窓会活動も大きく制限されることになりました。毎月開催しておりました役員会も感染対策の観点からリモート会議として継続し、費用の削減、時間的な参加のしやすさからメリットも多く感じることができ、今後の同窓会運営の一

助となりました。どうかこの状況をいち早く打開すべく、医療人として日々新しい情報を取り入れ行動していくことが非常に重要であると改めて考えさせられました。

来年度はCOVID-19の状況を吟味し、同窓生の皆様へ還元できるよう同窓会セミナー等の開催も検討して参ります。

最後に北海道医療大学後援会の皆様、各同窓会役員の皆様のご理解、ご協力の下に当会の運営が成り立っていますことに深く御礼申し上げます。

■ <https://www.ot40-jp.webnode.jp/>
■ hokuriyodai.ot@gmail.com



言語聴覚療法学科
同窓会長

石黒 恵美子

心理科学部／言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校／言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

〈創立年:1994年 会員数:約1,300名〉

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立され、昨年春には新しく48名の卒業生をお迎えしました。講演会の企画・運営と年に2回の会報の発行を通し現役生・卒業生の皆様への情報提供を中心に活動してまいりましたが、昨年に続き今年度も新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、主な活動を休止し会計管理と会員データのメンテナンスを行っております。

また、他学部同窓会と合同でオンライン会議により準備を進めております「第15弾コロナ☆講演会～口から食べられる理想に向かって」は、昨年同様にweb会議システムを利用した開催となります。このADVANCEが皆様のお手元に届く頃には、無事に講演会が終了

し、来年度の開催についての話し合いが始まっていることと思います。来年度は状況が落ち着き、対面での開催も可能となり、多くの皆様にご参加いただけることを願っております。

最後に、この場をお借りし北海道医療大学後援会の皆様・内外の先生方のご理解・ご協力を賜り運営を行っておりますことに、深く御礼申し上げます。

今後感染症の状況に対応しながら同窓会活動を通じて皆様のお役に立てるよう、役員一同努力して参ります。

■ st-kai@hoku-iryuo-u.ac.jp

北海道医療大学同窓会支部等連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)
札幌支部	多田 正人(4)
道北支部	沼野 達行(10)
十勝支部	石原 敦(3)
道南支部	吉田 元(12)
釧根支部	羽田野 貴志(11)
オホーツク支部	森谷 俊憲(13)
日胆支部	寺口 元(6)
青森支部	三上 章(1)
栃木支部	豊住 暢臣(17)
茨城支部	青木 邦子(4)
北越支部	杉本 雅規(3) ※支部長代理
神奈川県支部	萩原 秀男(5)
東海支部	高尾 信彦(2)
関西支部	山口 和俊(9)
中四国支部	黒長 正明(9)
九州支部	山田 昌人(3)
沖縄支部	村田 成夫(4)

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
岩手県支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 ☎018-887-3988
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	亀田 智(4)	亀田歯科 ☎0282-55-5118
群馬県支部	※前支部長ご逝去のため、後任は現在未定	
埼玉県支部	青木 聡(7)	あおき歯科医院 ☎049-256-2220
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	蛭名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川県支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨県支部	安田 伸一(13)	やすだデンタルクリニック ☎055-243-8461
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟県支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川県支部	久保 伸一郎(2)	栗津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	堀内 光一(10) ※支部長代理	堀内歯科医院 ☎0774-21-4016
近畿地区	瀧本 智朗(17)	とも歯科医院 ☎06-6654-6831
広島県支部	神原 滋(6)	明王台クリニック ☎084-952-2281
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	清川 宗克(3)	清川歯科・口腔外科クリニック ☎092-822-8805
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

■看護福祉学部

- ☎0133-23-1211
- 看護学科(内線:3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
 - 臨床福祉学科(内線:3708)担当:池森(介護福祉学講座)

■心理科学部・リハビリテーション科学部

- ☎0133-23-1211
(学務部 心理科学課・リハビリテーション科学課)
- 臨床心理学科
 - 作業療法学科
 - 理学療法学科
 - 言語聴覚療法学科



歯科衛生士専門学校
同窓会長

梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

〈創立年:1991年 正会員数:約1,294名、準会員:19名〉

平素より、同窓会活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
2019年末から始まったコロナウイルスとの闘い(共存?)は、いったいいつまで続くのか、不安になりながらも私たち医療従事者は日々業務を行い、責任を全うしております。それができているのは、学生時代多くの学部学生たちと連携する力を学ばせていただいたことが基礎にあるからだと思います。

2021年度本会の活動は、他学部の皆様と協力して行う「コロナ☆講演会」から始まり、2020年度には断念した活動をようやく再開できるようになりました。初めての試みで何度も確認作業を行って開催したwebによる歯科衛生士セミナーには80名ほどが参加し、参加していただいた方々からは、「大変良かった」とお言葉をいただきました。その後、理事会や総会もwebで開催することができました。遠くは、スウェーデンからも参加して下さった

同窓生もいます。

卒業生の多くは臨床の場で、患者さん(人)に向き合っていることと思いますが、その向き合い方は直接でも間接でも(画面越し)可能なのではないのかしら?と考えるようになりました。オンライン診療もその一つです。オンライン診療はツールさえあればできるというものではなく、ルールに則り、環境整備なども重要な問題です。どのような状況であっても工夫すること、なんとかしようと思えること、仲間と相談すること、協力することで“道が開ける”可能性に気がついた2021年度でした。

■ <http://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~katakuri/>
■ okahashi@hoku-iryuo-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線:3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部
地域連携課

☎0133-23-1129(直通) E-mail:nice@hoku-iryuo-u.ac.jp

01 新型コロナウイルスワクチンの職域追加接種(3回目接種)について

学校法人東日本学園(北海道医療大学)では、今般、新型コロナウイルスワクチンの職域追加接種(3回目接種)を実施することといたしました。

本学学生・教職員のみならず、地域の皆様が安心して毎日を過ごすことができるよう、全学を挙げて引き続き新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止に取り組んで参ります。

〈追加接種の概要〉

実施日程	2022年3月17日(木)～5月27日(金) ※大学休業日を除き、実日程は計23日間を予定 ※午前・午後各2.5時間(1日当たり最大 300 名接種)
接種対象者	① 在学生 ⑤ 当別町民の方 ② 教職員 ⑥ その他の学外者 ③ 教職員家族 ⑦ 令和3年度本学卒業生 ④ 業務委託先従業員 ⑧ 令和4年度本学新入生(入学後に、接種状況を調査) ※ 接種人数は、最大7,000人程度を見込んでいます。
使用ワクチン	武田/モデルナ社製ワクチンを使用
接種会場	本学当別キャンパス 中央講義棟10F

■ 参考情報

・感染予防効果や重症化予防効果が6ヶ月を過ぎると著しく低下し、変異株の影響も相まって、プレイクスルー感染(ワクチン接種後の感染)が多くなっていることが考えられます。3回目接種を行うことにより、感染予防効果が8割程度まで回復することが見込まれます。
・3回目接種では、モデルナ製のワクチンを2回目までの半量接種するため、副反応は2回目よりも軽減することが見込まれます。また、医師や看護師による副反応に対する安全確認を2回目接種時と同様に行っています。

コロナ禍で活躍する学生たち

〈硬式野球部〉
3部リーグ優勝

優勝報告会が行われました

2021年10月6日(水)、札幌学生野球連盟 2021年度秋季3部リーグ戦の優勝報告会が行われました。硬式野球部からは部員13名、指導者4名が出席し、主将の近藤唯人さん(作業療法学科3年)から理事長・学長へ大会の戦績報告(8勝1分)とあわせて、コロナ禍において大きな制限下で四苦八苦した思いや大学側の活動支援に対する感謝の言葉が伝えられました。主将からの報告の後には、鈴木理事長ならびに浅香学長より激励の言葉をいただき、2022年度2部リーグでの戦いに向け決意を新たにしていました。締めくりに兼輪監督からも挨拶をいただき、優勝報告会は盛会裏に終了しました。

なお、本大会では以下の学生が個人賞を受賞ならびにベストナインへ選出されました。

■ リーグ戦成績

最高殊勲選手賞	田中 雄大さん 作業療法学科1年	ベストナイン(投手)	渡辺 哉仁さん 臨床福祉学科1年	ベストナイン(外野手)	齋藤 心さん 理学療法学科1年
首位打者賞	今井 淳貴さん 理学療法学科4年	ベストナイン(一塁手)	今井 淳貴さん 理学療法学科4年		



〈軟式野球部〉
北海道1部リーグ優勝

北海道地区1部リーグ優勝報告会/ 全日本大会壮行会が行われました

2021年10月29日(金)、北海道地区大学軟式野球連盟 2021年度秋季1部リーグ戦の優勝報告会および第43回全日本大学軟式野球選手権大会壮行会が行われました。

軟式野球部からは部員15名と吉田部長が出席し、主将の守屋颯馬さん(理学療法学科3年)から理事長・学長へ大会の戦績、全日本大会出場への抱負が伝えられました。鈴木理事長ならびに浅香学長より激励のお言葉をいただき、北海道地区の代表として11月14日より大阪府にて行われる全日本大会に向け一層、気を引き締めた様子でした。

軟式野球部は、2018年度に同好会から部へ昇格。北海道地区3部リーグから出場を始め、発足早々の上り調子で初年度3部リーグ優勝、翌年度2部リーグ優勝し1部リーグ昇格、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を停止していたものの、部の発足からわずか3年で、北海道地区1部リーグ優勝、全日本大会出場権を勝ち取りました。



全日本大学軟式野球連盟
第43回全日本大学軟式野球選手権大会
https://junbf.jp/tournament/all_japan/





02

高齢者施設に入所している高齢者では ワクチン接種後抗コロナ抗体価が 極端に低かったことが判明 ～先端研究推進センター 研究結果～

本学先端研究推進センターの小林正伸特任教授らのグループは、新型コロナウイルス感染症の発症予防に効果を示すコロナワクチン接種後の抗体価を、高齢者と非高齢者で測定したところ、2回ワクチン接種後、64歳以下の病院・高齢者施設職員では中央抗体値が1095 IU/mlでしたが、高齢者の職員では716 IU/mlとやや低下し、高齢者施設に入所している高齢者では127 IU/mlと極端な低値を示しました。この結果から、高齢者施設や病院に入っている高齢者に対しては、3回目のブースター接種が早期に必要と考えられます。



※全体記念撮影時は、十分な換気を行い、発声を禁止した上で短時間マスクを外しております。

PFA優秀学生賞

歯学部6年生 夏目岳浩さん PFA優秀学生賞を受賞

2021年11月13日(土)にWeb開催されたPFA国際歯学会日本部会第52回年次大会でPFA優秀学生賞授賞式が行われ、本学歯学部6年生の夏目岳浩さんが今年度のPFA優秀学生賞を授与されました。PFA優秀学生賞は、歯科医学開花への道を拓いたピエール・フォシャール先生の先駆的業績を讃えて、その精神を継承し、歯科医学研究の促進を図り、口腔保健の向上とともに、国際的視野で公益に寄与すること目的とするPFA国際歯学会が、各国の歯科大学・歯学部の学生の中から、学業成績に優れかつリーダーシップを発揮し、将来が期待される学生に授与するものです。本年日本では本学歯学部6年生の夏目岳浩さんを含め2名に授与されました。



SCP活動報告

2020 SCP(学生キャンパス副学長)報告会が行われました

2021年12月20日(月)、2020 Student Campus President(学生キャンパス副学長)報告会が行われました。

学長、副学長をはじめ各学部から学部長、または学生部長が列席の中、SCP6名それぞれより、薬物乱用防止キャンペーンへの協力、学生の声を大学に届けるためのアンケートの実施、当別町150周年記念事業への協力、学生間の交流を促すイベントの実施などについて報告が行われました。

コロナ禍で多くの制限がある中で活動を行ってきた6名は、浅香学長より労いの言葉をいただきました。

SCPは、より良い大学づくりのために学生代表が教職員とともに各種プロジェクトの企画・立案を行い実施する、全国でも珍しい北海道医療大学独自の制度です。

SCPの多岐にわたる活動は、全国から大変注目されています。



2020 SCP

薬学部	3年	田中 鈴菜さん
歯学部	2年	坂本 啓さん
看護福祉学部	2年	奥野 拓真さん

心理科学部	2年	黒島 弘笙さん
リハビリテーション科学部	3年	佐々木 桃佳さん
医療技術学部	3年	谷 侑奇さん

SCPホームページ
<http://scp.hoku-iryo-u.ac.jp/>



2021年度 就職相談会を開催しました。

2021年度オンライン就職相談会が各学部・専門学校で開催され、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの実施となりました。各団体の部門責任者・人事担当者の皆様にご参加いただき、学生に対して就職や業界に関する説明・相談等を行っていただきました。

できるだけ相談・質問の機会を多く設けるため、事前に参加団体から学生へ説明資料を提供いただき、対話中心の形式で実施しました。団体様からも「学生と直接やりとりする時間がたくさんあり良かった」、「一方向の説明で終わることなく、会話をすることで学生の考えを知る良い機会となった」とのお声も頂きました。

参加した学生は、この貴重な機会を存分に活かそうと、真剣な表情で積極的に質問をしながらコミュニケーションを図るなど、とても有意義な時間となりました。また、2022年3月11日(金)には、医療技術学部設立後初となる就職相談会も実施しました。

本学では各学部・に就職委員会を設置し、就職ガイダンスや専門講師を招いての各種セミナーを数多く実施するなど、学生がより親和性の高い就職先に就職できるよう、教職員が一丸となつてきめ細やかな指導をしています。



開催日	対象	団体数	参加団体
2021年 7月10日(土)	歯科衛生士 専門学校	20団体	●歯科医院・病院
2021年 7月16日(金)	福祉キャリアフェスタ (臨床福祉学科・ 臨床心理学科)	28団体	●地方自治体・官公庁 ●施設・社会福祉協議会 ●病院・クリニック 他
2021年 10月2日(土)	リハビリテーション 科学部	169団体	●病院・クリニック ●介護老人保健施設 他
2021年 10月26日(火)	オンライン業界 研究セミナー (臨床心理学科)	11団体	●地方自治体・官公庁 ●サービス業・小売業 他
2022年 2月18日(金)	薬学部	156団体	●病院 ●薬局・ドラッグストア 他
2022年 3月11日(金)	臨床検査学科	28団体	●病院・クリニック ●検査センター ●製薬・医薬卸 他

本学のキャリア支援について <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/syusyoku/>

“スポーツ”の視点から“福祉”について考える

スポーツを支える各学科の教員特集

TEACHER'S
INTERVIEW
Vol.2

スポーツ
×
心理

セカンドキャリアに関する悩みなど 心の問題を抱えるアスリートを支援する



金澤 潤一郎 先生
■心理科学部 臨床心理学科 准教授

2012年本学助教、2017年より准教授。専門は大人の発達障害への認知行動療法。「福祉心理学」など広くカウンセリングに関わる授業を担当するほか、本学附属こころの相談センターで大人の発達障害の方を支援。

バスケットボールが好きで、月に1度、精神障害を持つ人といっしょに楽しく練習をしています。専門は大人の発達障害。臨床や研究を通して、強くて忍耐強いイメージがあるアスリートでも、うつ病や摂食障害など、さまざまな臨床心理学的問題を抱える人がいることがわかりました。これらの課題に臨床心理学、スポーツ心理学は役に立ちます。カウンセリングのほか、トップアスリートの心理サポートに関する国立スポーツ科学センター（JISS）の事例検討会に参加するなど、アスリートへの支援につなげていきたいです。

スポーツ
×
理学療法

自分自身のスポーツ経験と理学療法の知識を アスリートや育成年代のケガ予防に役立てる

アスリートが多く訪れる病院に理学療法士として勤務し、中学生のサッカーチームのトレーナーをしていた頃、腰椎の疲労骨折を起こす人と起こさない人がいることに疑問を持ちました。現在はそのメカニズムの解明を通して、予防に貢献したいと研究を続けています。理学療法士はスポーツ経験者が多く、私も小学生から大学を卒業するまでサッカー一筋でした。自分自身のスポーツ経験やアスリートのサポート活動は、理学療法への知見を深めることから、社会貢献にもつながると考えています。



山根 裕司 先生
■リハビリテーション科学部 理学療法学科 助教

2015年、本学助教として着任。スポーツにおける腰部疾患の発生のメカニズム解明と予防が研究テーマ。現在、北海道サッカー協会医学委員として、選手のメディカルサポートにあたっている。

OG訪問

今回紹介するのは海外で働く卒業生。ジャズ発祥の地として知られるアメリカ南部ルイジアナ州ニューオーリンズに広大な敷地を有し、退役軍人（ベテラン）にヘルスケアを提供するベテランズホスピタルの歯科医師、テリオ志保さんです。

ベテランズホスピタル（アメリカルイジアナ州）歯科医師

Ms. Shiho Theriot（旧姓：玉井 志保さん）

（歯学部歯学科1990年卒業）



大規模な国営病院

志保さんが勤務するベテランズホスピタルは、その名の通り退役軍人のための国営病院です。身体的、精神的疾患のあらゆる診療科を揃えるほか、薬物中毒やホームレス、自殺など退役軍人にハイリスクとされる問題に対処するプログラムも充実、近年はLGBTQのサポートにも力を入れています。コロナ禍前は年間約4万5000人の退役軍人に医療サービスを提供していた病院は敷地も広大、志保さんはいつもランチ持参で出勤しているそうです。「だって歯科からカフェテリアまで歩くと15分はかかるんです（笑）」。

話を聞く歯科医師

歯科には一般歯科4人、歯周病専門1人の歯科医師が在籍。志保さんは一般歯科で20代～90代の患者さんのすべての症状の治療にあたるほか口腔外科も担当し手術にも入り、口腔がんも顎顔面補綴*も手がけます。

（※病気やその治療、また外傷で失われた口腔、顎、顔面の機能や組織を補う治療）

診療は朝7時45分から夕方4時までですが、志保さんは毎日診療後2時間ほどを電話などでの患者さんサポートの時間に充てています。「患者さんはすべて戦争体験という特殊なバックグラウンドをもち、程度の差はあれPTSDがあります。口の中以外の身体的、精神的問題を見極めて治療を考えることが歯科医師にも必要です。患者さんを理解するための時間を惜しんではいけないと思っています」。現在、治療によっては予約前24時間以内のPCR検査を義務付けるなど感染症対策をとり、1日の患者数も通常の50%に抑え、予約は3カ月先まで埋まっているそうです。この状況下、1本の電話が患者さんの心をもじかすると命を救うことだってあるかもしれません。

絶え間なきチャレンジ

「中学時代からいつかは留学と思っていました。海外で働くことまでは考えていませんでした」と志保さん。本学卒業後、研修医をした東京医科歯科大学で顎顔面補綴の面白さに出会い、留学の目的に定めました。その後一般歯科医院で臨床力を鍛えなが

ら資金を貯め、卒後7年で渡米。UCLAのプリセプターシップでアドバンスインプラント学、顎顔面補綴学を学ぶ中で、確立されたがん患者のトータルケア、チーム医療にも刺激を受けたといいます。そしてルイジアナ州立大学歯学部の研究員、助教授を経て、2008年現職に就きました。途中、結婚を機にアメリカ永住を決意、国家試験と州の試験に合格してアメリカの歯科医師免許を取得しました。「夕方5時まで働き6時から深夜0時までは睡眠、0時から朝6時まで勉強し、出勤するという生活を3年続けました。30歳を過ぎて日本では開業した同期もいる中、基礎系科目からの学び直しは自分との闘いでした。でも大変だったあの時間が、その後の人生の充実度を高めています」。

限界は決めない

「冒険心、好奇心が強い」という志保さんが単身渡米し自らの力で切り開いてきた道のりは、成長とともに新たに現れる目標へのチャレンジの連続でした。「若い頃は、一つのことに集中して3年、4年、取り組むなんて長く感じますが、振り返るとそんなことはないんです。やりたいと思ったことはやる。壁は高いほど乗り越えたときの達成感は大きく、努力は自信になります。受験生や後輩には、自分で自分の限界を決めることはしないで、と言いたいです」。ぶれない自分軸をもった自己実現力のモデルのような志保さんの言葉、説得力もひとときわです。

ひたむきな努力をジェネラリストとして開花させた志保さんにやりがいを尋ねると、「自分の治療に満足してくれた患者さんの笑顔、これに尽きます」と即座に答えが返ってきました。モットーは「患者さんを自分の両親、家族と思って治療にあたること」。どの国で、どんな言語で、どんな患者さんを診ていても、歯科医師の本質は変わらないということですね。



ベトナム戦争の退役軍人Daniel Higginsさん（前列中央キャップとジーンズ着用）が2019年のD-Dayに治療で来院した際の写真。D-Dayは1944年6月6日、連合国軍がフランス・ノルマンディー海岸に上陸した軍事記念日で、Danielさんの祖父Andrew Higginsさんは同作戦の功労者として知られています。（右から3人目が志保さん）

JR「当別」駅から徒歩1分の
本学専用寮に新館(2号館)が完成しました。

北海道医療大学 専用寮

[JRドーミー当別1号館・2号館]

2022年3月、
新館(2号館)
入居開始!!

JRドーミー当別1号館

JRドーミー当別2号館

- 食事付き
- 設備充実
- 安心安全
- 家具・家電付き
- オール電化
- オートロック
- 完全個室
- 女性専用フロア



充実の設備とサポートで、安心・快適な学生生活を応援しています。

家具・家電付きで 新生活の負担を軽減

居室にはベッド、机、エアコン、冷蔵庫などの生活に必要な家具家電を完備。一人暮らし開始に伴う経済的負担を軽減できます。



管理栄養士監修による 朝夕2食付きで健康生活

メニューが豊富で栄養バランスを考慮した食事を朝・夕提供します。その日の予定に合わせて夕食は22時まで利用できます。



居室はICカードキー付き、 管理人常駐だから安心

鍵付きの完全個室、管理人による24時間サポートや防犯カメラの設置でセキュリティは万全。宅配便の預かりサービスも便利です。



JR「当別」駅まで 徒歩1分の好立地

アクセス抜群で通学や生活に便利な好立地。駅前から乗車できる「当別ふれあいバス」は通学時なら無料で利用できます。



学生同士の絆を深める寮生限定イベント

年間を通してさまざまなイベントを開催。寮生同士の交流を深め、楽しい寮生活を応援します。



寮生の成長を支援するRA制度

RA(Resident Assistant)は、寮のコンダクター。新入生のサポートやイベント企画、寮生の日常生活を支える役割を担っており、他寮のRA同士の成功体験を共有するなど、寮生活の取り組みを通して、学生の成長を支援しています。



■月額費用

1号館	食事別 47,500円	食事込 65,100円
2号館	食事別 52,100円	食事込 69,700円

※管理費・通信設備費・光熱費別途

■医療大学へのアクセス

- ・JR 約6分(乗車5分)
- ・当別ふれあいバス 約17分(乗車15分)
- ・自転車 約25分(距離3.3km)

■物件概要

●物件名/JRドーミー当別(2022年3月2号館増築) ●住所/北海道石狩郡当別町錦町55-9 ●専有面積/(1号館)洋室25.55㎡・(2号館)21.00㎡ ●構造・規模/(1号館)鉄筋コンクリート造9階建・(2号館)鉄筋コンクリート造5階建 ●定員(1号館)101名・(2号館)32名



専用寮についての詳細は
ホームページをご覧ください。



お申し込み・
お問い合わせ

(株)共立メンテナンス

お問い合わせフリーコール 0120-97-4334

〒060-0051 札幌市中央区南1条東3丁目11-9 カタギリ1-3ビル1F

インターネットによるご寄附が可能です

学園では、皆様からのご寄附を教育研究活動や施設設備の整備、学生支援ほか学園環境の充実のために活用させていただいています。

インターネットを通じてパソコンやスマートフォンなどから簡便にご寄附いただけます。

引き続き皆様からの温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



STEP 1 本学ホームページの「一般・卒業生・保護者・企業の方へ」をクリック。



STEP 2 その他の「ご支援をお考えの皆様へ」をクリック。



STEP 3 左側の「寄附のお申し込み」をクリック。

寄附の種類

●特に用途を指定されない場合は、学校法人東日本学園全般の教育・研究・学習環境の充実、キャンパス整備、教育・研究活動の支援などに広く活用させていただきます。

●特定の用途に限定してご寄附いただくことも可能です。インターネットによるご寄附の入力ページには以下の項目を設けております。

- ①教育環境や学生支援制度の充実のため
- ②研究活動および研究者支援のため
- ③キャンパスの環境整備および学園の施設整備のため
- ④医療機関の施設設備充実のため
- ⑤その他

※新型コロナウイルス感染拡大により、経済的に厳しい環境に置かれることとなった学生さんを支援するため、「コロナ対策学生応援プロジェクト」を展開中です。この制度は、寄附の目的を当該プロジェクトと指定していただくと、お預かりした寄附金を、支援を必要とする学生さんに直接給付するものです。

記念品の贈呈

本学では、10,000円以上をご寄附いただきました個人の方に、金額に応じてWEB芳名録への記載と記念品をお送りいたします。



ロイズ ショコラの四季

ハンドタオル

ピュアモルトペン

	100,000円未満	300,000円未満	300,000円以上
WEB芳名録	●	●	●
ロイズ ショコラの四季(専用箱入)	●	●	●
ハンドタオル(大学名入)		いずれか希望する一方	●
ピュアモルトペン(大学名入)			●

※10,000円以上のご寄附をいただいた個人の方が対象となります。
 ※土地・建物・金銭にかかるご寄附をいただいた方が対象となります。
 ※WEB芳名録は専用ページを開設いたします。ご希望されない場合は掲載いたしません。

インターネットによるお申し込み (クレジットカード・コンビニエンスストア・Pay-easy)

パソコン、スマートフォンなどからアクセスし、煩雑な手続きを経ずご寄附いただけます。なお、インターネットによるお申し込みは、学園が寄附の決済代行を委託している株式会社エフレジの「F-REGI寄附支払い」を利用したお手続きとなります。

スマートフォンからのご寄附のお申し込みはこちら。

https://kifu.f-regi.com/contribute/hoku_iryu_u



銀行振込によるお申し込み

金融機関ATMやネットバンキング、銀行窓口からご寄附いただけます。寄附申込書をダウンロードするボタンから寄附申込書を印刷し、必要事項をご記入のうえ、以下のお問い合わせ先まで郵送またはEメールでお送りください。なお、電話連絡いただけましたら、郵送にて寄附申込書をお届けします。

税制上の優遇措置

個人、法人を問わず、寄附者の皆様には寄附金額に応じて寄附金控除を受けることができます。詳細は、ホームページ左側の「税制上の優遇措置」からご確認ください。

ご寄附に関するお問い合わせ先

北海道医療大学 学術交流推進部

TEL 0133-23-1129

FAX 0133-23-1296

E-mail kyousui@hoku-iryu-u.ac.jp

日本赤十字社より銀色有功章を受章しました。

2022年1月6日(木)、本学が日本赤十字社より銀色有功章を受章しました。この章は永年にわたり継続して献血運動に功労があった企業・団体に対して贈られるもので、北海道赤十字血液センターの推薦を受けたものです。

本学では毎年数回、大学構内に献血車をお呼びして献血を実施しており、学生や教職員が多数協力しています。表彰は当別町役場にて行われ、後藤町長より表彰楯を賜りました。



社会福祉法人きたの愛光会と業務連携協定を締結しました。

2021年12月13日(月)、本学当別キャンパスにおいて、社会福祉法人きたの愛光会(北見市)と看護福祉学部臨床福祉学科の業務連携協定を締結しました。

本協定は、社会福祉法人きたの愛光会が実施する「介護福祉士の社会的認知向上のための事業」と北海道医療大学が実施する教育・研究事業との連携を目的として締結されたものです。



当別町イングリッシュプロジェクトが行われました。

2021年10月23日(土)、当別町白樺コミュニティセンターにおいてイングリッシュプロジェクト(当別町教育委員会共催)が行われました。

イングリッシュプロジェクトは、小学生が基礎的な英語や英会話を楽しく学習する企画で、本学からは先端研究推進センターのパウデル ドルガ助教、歯学部特別研究員のソヨッド トウフィクル イスラムさん、歯学研究科4年生のパルチメグ アルタンヒシグさんの3名が、当別町の小学生18名を対象に、英語で話をしながら出身国の紹介などを行いました。

本プロジェクトは、昨年度実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により中止となり、今年度、感染対策を徹底したうえで、初めて実施されたものです。

当別町との連携事業の一つとして、今後も継続して国際交流を図っていきたくと考えています。



「私立大学等改革総合支援事業」の支援対象校として2年連続で文部科学省より選定されました。

本学は2022年2月18日(金)に令和3年度「私立大学等改革総合支援事業」タイプ3(地域連携型)の支援対象校として文部科学省より昨年度に続き、2年連続で選定されました。

当該事業は、Society5.0の実現に向けた特色ある教育研究の推進、地域社会への貢献、イノベーションを推進する研究の社会実装の推進など、特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を文部科学省が重点的に支援するものです。

本学は、タイプ3(地域連携型)について右記の取り組みにより、選定基準を上回りました。

今後とも本学では地域社会の更なる発展に向け、自治体や産業界等との連携を深め、大学改革の推進に取り組んでいきます。

<地元当別町などの地方自治体との連携>

- 地域課題解決を目的とした教育課程の編成、社会福祉推進事業の実施
- 生涯学習講座、出張講座の開催

<学生の地域ボランティア活動に対する取り組み>

- 単位認定

<当別町と当別町商工会などの地元産業界との連携>

- 災害対応リスクマネジメント体制の構築

EDITOR'S NOTE

新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから2年が過ぎました。保健・医療・福祉にかかわる同窓生の皆様は、社会からの期待も大きく、感染の予防と治療のために様々な調整や努力が求められ続け、厳しい状況におかれていることと思います。在学生と教職員、そのご家族も、感染者数の増減を注視しながらの自粛生活が長期化し、今なお日々の暮らしにたくさんの方の支障をきたしています。大学生として大いに学び、いろいろな人と出会って見聞を広めたくても、思うようにその機会が得られないと感じている学生は少なくないはずです。そんな折、看護福祉学部の教員が「アダプテッド・スポーツ大会」を企画し、この年末にキックオフイベントが開催されました。東京2020パラリンピック競技大会の年でもありましたから、「多様性と調和」「共生社会」をはぐむという大会基本コンセプトに触れて、私たちの認識も高まっていたと思います。感染対策のため、小規模でのイベントとなりましたが、学生チームだけでなく教員チームも参加して、シットイングバレーボールと車いすバスケットボールを体験し、ポッチャは白熱した真剣勝負になりました。参加者は口をそろえて次の開催を楽しみにするほどの大変有意義なイベントでした。今後は学部を越え、さらには当別町とも協力しながら、交流の輪が広がり、共生社会への理解と実践が深まっていく契機になればと期待しています。長らく自粛生活のなかで「できないこと」ばかりに目が行きがちですが、「できること」からチャレンジしたい。未来を創造する魅力的な取り組みの発信地として、今後とも北海道医療大学が発展し続けられますように。皆様の温かいご支援をよろしく願いいたします。(S.U記)

ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.178

STAFF ● 遠藤 泰 浜上 尚也 志茂 剛 飯嶋 雅弘
内ヶ島 伸也 中田 雅美 西郷 達雄 福田 実奈
長谷川 純子 児玉 壮志 田村 至 近藤 啓
高橋 祐輔 山形 麻紗 三浦 清志 三川 清輝
近田 卓哉

発行日 ● 2022年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報部 入誌広報課

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL:0133-22-2113

http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしています。
E-mail:nyushi@hoku-iryu-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを北海道医療大学の教育理念とする。